

西宮市西部工場解体工事

審査講評

令和5年4月

西宮市一般廃棄物処理施設整備事業者選定委員会

委員名	所属・役職等
奥田 哲士	龍谷大学 先端理工学部 教授
築谷 尚嗣	ひょうご環境創造協会 環境技術専門員
畠田 健治	ミネルヴァ法律事務所 弁護士
宮崎 ひろ志	関西大学 環境都市工学部 専任講師
和田 聡子	大阪学院大学 経済学部 教授

1. 審査方法等

(1) 募集及び選定方法

総合評価一般競争入札により募集及び選定した。

(2) 選定委員会の審議及び審査の経過

本工事の落札者等の候補を選定するために、「西宮市一般廃棄物処理施設整備事業者選定委員会」を3回開催した。選定委員会の開催状況は、表 1 に示すとおりである。

表 1 選定委員会の開催状況

日 程	内 容
令和4年11月25日	入札関係書類の審査
令和5年4月7日	提案書ヒアリング、技術評価点の算定
令和5年4月12日	総合評価

2. 審査結果

(1) 入札参加者

入札参加者は、表 2 に示すとおり3者であった。

表 2 入札参加者

提案受付番号	代表企業名	参加形態（単独又はJV）
KG79	株式会社 鴻池組	単独
PM74	株式会社 ピーエス三菱	単独
TK33	東急建設 株式会社	単独

(2) 第一次審査（入札参加資格審査）

選定委員会は、市より入札参加者が「入札参加者の備えるべき参加資格要件」を満たしているとの報告を受け、報告内容を確認した。

(3) 第二次審査（技術提案審査）

1) 基本的事項の確認

選定委員会は、市より入札参加者から提出された技術提案書が、要求水準を満たしているとの報告を受け、報告内容を確認した。

2) 技術評価点の算定

選定委員会は、入札参加者から提出された技術提案書についてヒアリングを実施し、落札者決定基準に基づき、技術評価点を表 3 に示すとおり算定した。

表 3 技術評価点算定結果

評価項目		配点	提案受付番号 K G 7 9	提案受付番号 P M 7 4	提案受付番号 T K 3 3
施工計画	提案 1 ダイオキシン類に対する 近隣住民への配慮	2.0	1.33	0.00	1.67
	提案 2 石綿に対する近隣住民への 配慮	2.0	1.33	0.00	1.00
	提案 3 自由記述（提案 1、2 に 関する記述以外）	2.0	2.00	0.33	1.00
企業能力	企業の同種工事の施工実績 (件数)	1.5	1.00	0.00	0.00
	企業の同種工事の施工実績 (規模)	1.0	0.00	1.00	1.00
技術者能力	監理技術者の同種工事の 施工実績 (件数)	1.0	0.00	0.00	0.00
	監理技術者の同種工事の 施工実績 (規模)	1.5	0.00	0.00	1.50
地域要件	地域経済への貢献度	1.0	0.00	0.00	0.00
	地域精通度	1.0	0.00	0.00	0.00
加算点算定結果		13.0	5.66	1.33	6.17
標準点※		100	100		
技術評価点算定結果		113	105.66	101.33	106.17

※提案内容が要求水準を満たしている場合に標準点（100 点）を付与する

(4) 第二次審査（入札書審査）

選定委員会は、市より、入札参加者から提出された入札書が予定価格以下であるとの報告を受け、報告内容を確認した。

表 4 入札書審査結果

項目	提案受付番号 K G 7 9	提案受付番号 P M 7 4	提案受付番号 T K 3 3
予定価格（税込み）	1,355,200,000		
入札書比較価格（税抜き）	1,232,000,000		
入札価格（税込み）	872,300,000	1,114,300,000	929,500,000
入札価格（税抜き）	793,000,000	1,013,000,000	845,000,000
入札書審査結果	○	○	○

(5) 総合評価（評価値算定）

選定委員会は、入札参加者から提出された入札書及び算定した技術評価点により、入札参加者の評価値を表 5 に示すとおり算出し、提案受付番号 K G 7 9（株式会社 鴻池組）を落札者の候補、提案受付番号 T K 3 3（東急建設 株式会社）を次点落札候補者の候補として選定した。

評価値算定式

評価値＝技術評価点／入札価格（消費税及び地方消費税を除く）

表 5 評価値の算出結果

評価区分	配点	提案受付番号 K G 7 9	提案受付番号 P M 7 4	提案受付番号 T K 3 3
技術評価点	113	105.66	101.33	106.17
入札価格（税抜き）	-	793,000,000	1,013,000,000	845,000,000
※ 評価値 × 10 ⁹	-	133.240	100.029	125.644
落札者等の候補		落札者の候補		次点落札候補者の候補

※少数第3位まで表記（第4位以降は非表示）

3. 総評

本工事は、昭和 58 年から平成 24 年まで稼働していたごみ焼却施設である西宮市西部工場の解体・撤去工事を行うものである。

本工事の特徴として、特にダイオキシン類及び石綿に対する対策が求められる中で、3 者から入札参加があり、いずれの企業からも独自のノウハウが発揮された提案を受けた。

提案受付番号【KG79】の企業は、ダイオキシン類及び石綿に対する課題について深く理解していたこと、リスクへの対応についても行き届いていること、及び近隣住民への情報開示についての考え方が示されていることを評価した。騒音・振動、粉じん、交通事故防止、労働災害防止など課題の抽出が多岐にわたり、その対策もわかりやすく提案されていた。また、一般的に提案が具体的で詳細に記載されていることを高く評価した。

提案受付番号【PM74】の企業は、ダイオキシン類、石綿、騒音・振動に関して、リアルタイムに測定し、確認する提案がなされていた。一方、提案内容は測定管理方法についての内容にとどまり、住民への情報開示方法に関しては、具体性に欠けていた。

提案受付番号【TK33】の企業は、ダイオキシン・焼却炉解体に関して独自の提案がなされていた。また、工事車両の安全管理面での工夫も感じられたこと、近隣住民への情報開示についての考え方が示されていること、及び適切な課題抽出から施工計画へのプロセスが明確であることを評価した。

今後、落札者の候補は、市と請負契約を締結することが予定されているが、工事期間中においても今回の提案内容をもとに、さらに質の高い解体工事の実現に向けて取り組むとともに、市の意向を最大限尊重しながら、解体工事が安全かつ円滑に進むよう対応されることを要望する。